

鉄鋼面

7章8節：耐候性塗料塗り(DP) Vフロン#100Hスマイル上塗Re

公共仕様No.
DNT-改修・8-1-02

使用材料一覧表

規格 一般名称		商品名	ホルムアルデヒド 放散等級	希釈剤
1	JASS 18 M-109 変性エポキシ樹脂プライマー(変性エポキシ 樹脂プライマーおよび弱溶剤系変性エポキ シ樹脂プライマー)	エポオールスマイル	F☆☆☆☆	塗料用シンナー又は 塗料用シンナーA
2	JIS K 5659 鋼構造物用耐候性塗料 A種 中塗り塗料	Vフロン#100Hスマイル中塗	F☆☆☆☆	塗料用シンナー又は 塗料用シンナーA
3	JIS K 5659 鋼構造物用耐候性塗料 A種 上塗り塗料 1級	Vフロン#100Hスマイル上塗Re	F☆☆☆☆	塗料用シンナー又は 塗料用シンナーA

塗装仕様

表7.2.2 鉄鋼面の下地調整【RB種】 ※詳細は、7.2.3 鉄鋼面の下地調整をご参照ください。

工程		塗料その他	面の処理
1	既存塗膜の除去	—	ディスクサンダー、スクレーパー等により、劣化したぜい弱な部分、錆等を除去し、活膜は残す。
2	汚れ、付着物除去	—	素地を傷つけないようにワイヤブラシ等により、除去する。
3	油類除去	—	既存塗膜を除去した範囲を溶剤ぶき。
4	研磨紙ざり	研磨紙P120～220	全面を平らに研磨し、研磨かす等を除去する。

表7.4.4 耐候性塗料塗りの場合の鉄鋼面の錆止め塗料塗り【B種】 ※詳細は、7.4.3 錆止め塗料塗りをご参照ください。

工程		商品名	色相	混合比率 (重量比)	希釈率(%) (重量比)	塗装方法	標準膜厚 (μm) 塗付け量 ($\text{kg}/\text{m}^2/\text{回}$)	標準工程 間隔時間 (20℃)
1	錆止め塗料塗り (下塗り1回目)	エポオール スマイル	赤さび色 グレー ライトグレー Dホワイト	主剤90: 硬化剤10	0～10	刷毛	40	【注1】 24時間以上 7日以内
					0～10	スプレー	0.14	
2	錆止め塗料塗り (下塗り2回目)	エポオール スマイル	赤さび色 グレー ライトグレー Dホワイト	主剤90: 硬化剤10	0～10	刷毛	40	【注1】 24時間以上 7日以内
					0～10	スプレー	0.14	

表7.8.1 鉄鋼面の耐候性塗料塗り ※詳細は、7.8.2 鉄鋼面の耐候性塗料塗りをご参照ください。

工程		商品名	色相	混合比率 (重量比)	希釈率(%) (重量比)	塗装方法	塗付け量 ($\text{kg}/\text{m}^2/\text{回}$)	標準工程 間隔時間 (20℃)
1	研磨紙ざり	研磨紙P120～220					—	清掃後
2	中塗り	Vフロン#100H スマイル中塗	各色	主剤90: 硬化剤10	5～10	刷毛	0.14	【注2】 24時間以上 7日以内
					5～15	スプレー		
3	上塗り	Vフロン#100H スマイル上塗Re	各色	主剤90: 硬化剤10	0～10	刷毛	0.10	【注3】 72時間以上
					0～15	スプレー		

注意事項

- * 上記塗付け量は、国土交通省 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)令和7年版に掲載されている数値です。
そのため実際の塗付け量は被塗物の形状や、塗装方法、環境によって増減することがあります。
- * 標準工程間隔時間は、建築改修工事監理指針に基づいた数値です。
【注1】工程間隔時間がEs種(JASS 18 M-109)で7日をこえる場合は、塗膜が薄くならないように全面軽く研磨紙ざりを行う。
【注2】工程間隔時間が7日をこえる場合は、塗膜が薄くならないように全面軽く研磨紙ざりを行う。
【注3】標準最終養生時間を示す。
- * 商品の詳細、塗装上の注意事項につきましては、カタログ、単品説明書などを参照ください。